

令和 3 年 3 月 定 例 会

総務建設委員会記録

令和 3 年 3 月 1 5 日 (月)

午前 1 0 時 0 0 分

全員協議会室

付託案件 議案第 6 号 有田市箕島駅前駐車場条例の一部を改正する条例  
議案第 7 号 有田市職員の公益的法人等への派遣に関する条例の  
一部を改正する条例  
議案第 8 号 有田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の  
一部を改正する条例  
議案第 24 号 工事請負契約について

出 席 者

委 員 宇野博治委員長 成川 満副委員長  
西口正助委員 児嶋清秋委員  
岡田行弘委員 池田敦城委員  
中西登志明委員

生駒三雄議長

経営管理部 嶋田博之部長 大松満至理事  
喜多俊充参事 山本芳規経営企画課長  
上田敏寛防災安全課長 御前一晃総務課長  
上野山猶哉総務課主幹 上田サユリ防災安全係長  
伊藤めぐみ人事係長 上村泰広総務係長

経済建設部 河野孝司部長 鈴木順一理事  
鎌田利宏産業振興課長 大浦秀和有田みかん課長  
脇村哲弘建設課長 栗山京三地籍調査課長  
桑原伸浩地籍調査課主幹

消 防 本 部 嶋田富司消防長 尾藤海男樹総務課長

出 納 室 森川直子会計管理者

議会事務局 田中 聡局長 福永康一次長  
大谷真也書記

開 会

○宇野委員長：おはようございます。只今より総務建設委員会を開催いたします。

各委員におかれましては、何卒慎重なるご審議の上、適切なるご判断ご決定を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

議案第6号 有田市箕島駅前駐車場条例の一部を改正する条例  
(上田防災安全課長 説明)

○宇野委員長：説明は終わりました、次に質疑を認めます、ご質疑ありませんか。

○成川副委員長：これは上限500円ということで、いいと思うのです。利用しやすい。今までは少し困った方もおられた。それはそれなのですが、例えばこの周辺で市営の駐車場といえば文化福祉センターとか、あるいは市民会館の駐車場。これも一般の人が利用できる。そして、役所の中では管理部署が違うのですが、今までは統一して1時間までは無料、その後は1時間ごとに100円の加算ということで、利用者にとって迷いがなかった。利用しやすかった。箕島の駅前駐車場だけこのような料金体系とするにあたって、市の駐車場だったら駅前周辺へ行けば全部同じ1時間で100円というような感じで利用者は利用してきたと思われるが、そこら辺りの検討はされたのか。あるいはしていないのか。統一して他の駐車場も合わせるつもりがあるのか。その辺りを教えていただきたい。

○嶋田経営管理部長：成川委員のご指摘のとおり、市営の駐車場は他にもありますが、JRの利用というようなことも考えて長時間駐車するケースというのは当然あるというようなことで、上限設定といいますか、今回のような改正というのは、やはり駅前駐車場の一番の特徴ではないかなというようなことで、それも含めて色々検討もしていますが、こういう形の上限設定というのは駅前駐車場が一番適切ではないかという判断でございます。

○成川副委員長：今の説明はわかるのですが、例えば何かあって駅前の駐車場が一杯になって溢れて来る。そうしたら一般の人は、他にも文化福祉センターの駐車場とか市民会館の駐車場があるということは、みんなが知っているのも、そこへ流れてくる可能性もある。それと利用者にとって、やはりわかりやすい料金システム。色々な状況に応じて全て同じ料金システムである方が、私は難しくなってしまうので、ただこれを直すのに大分お金もいるのか、その辺りはわかりませんが、やはりできるだけ公共施設は、そして駅前周辺といいましたが、統一した料金システムとした方がいいと思うので、是非色々な角度で、経費の面も含めて、あるいは現在の料金の徴取の方法とか色々あると思うので、是非ご検討いただきたい。

○宇野委員長：他にご質疑ありませんか。

○児嶋委員：24時間駐車したら500円限度ということですが、2日目に入って24時間経過

した場合にはプラス500円して1000円ということになるのですか。

- 上田防災安全課長：児嶋委員のご指摘のとおりで、24時間を超えますと最初のところからカウントが始まるということになっています。
- 宇野委員長：他にご質疑ありませんか。
- 岡田委員：最初の1時間は無料ということについて、駅だけではなく周りの駅周辺のところも利用できるような考えで、最初の1時間は無料となっているのでしょうか。
- 上田防災安全課長：今、市の駐車場の中では全体的に1時間は無料であるのと、各市町の駅前駐車場と箕島駅周辺の民間の駐車場をみますと、最初の1時間等々は無料になっているというところがありまして、私共の方も使いやすいという中で、1時間無料にさせていただいたところがございます。
- 岡田委員：利用しやすいということと、また不法に駐車されないような感じでいいと思います。

質疑終了 採 決 ( 可 決 )

議案第7号 有田市職員の公益的法人等への派遣に関する条例の一部を改正する条例  
(御前総務課長 説明)

質疑なし 採 決 ( 可 決 )

議案第8号 有田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例  
(御前総務課長 説明)

- 宇野委員長：説明は終わりました、次に質疑を認めます、ご質疑ありませんか。
- 児嶋委員：別表第3で1級、2級、3級とわかれています、典型的な業務はだいたいの事務的なものかなとは思いますが、困難な業務、特に困難な業務とはどのような職種になるのですか。
- 御前総務課長：現行の職務級におきましては1、2、3級となっておりまして、それを5級にするのですが、1級につきましては主事、職員の主事級の業務、2級では副主任、3級では主任、4級では主査、係長級、5級では主幹、課長級の業務というふうなものを想定して設定の方、今回させていただいております。現行の方につきましては、高卒程度、短大卒程度、大卒程度の給料月額設定となっておりますものをそれぞれ役職級の給料表にあてはめて改正しようとするものでございます。
- 児嶋委員：大体わかりました。業務が難しいのかなと思いましたので、質問しました

が了解です。

質疑終了 採 決 ( 可 決 )

議案第24号 工事請負契約について  
(御前総務課長 説明)

- 宇野委員長：説明は終わりました、次に質疑を認めます、ご質疑ありませんか。
- 中西委員：この工事契約についてですが、工期的にいつから始まって、いつ終了ということによってスタートされるのか。それと現状のシステムで更新ということなので、どのように設備が変わっていくのかということをも具体的に教えて下さい。
- 上田防災安全課長：中西委員のご質問にお答えします。まず1点目、工期でございます。工期については、市議会におきまして本議案が議決されました翌日からでございます。工期としましては来年、4年3月31日まででございます。それが1点目でございます。2点目、整備の内容でございます。現在有田市の方では、防災行政無線をアナログ波でしてございます。こちらが国の政策によって、現在のアナログ波の中では使えなくなるというところで、変える点がございます。まず市役所に設備しております親局というところをデジタル用に整備するのがひとつでございます。それとそれに関係いたしまして、各市内の放送局にスピーカーが付いているのを皆様ご存じかと思いますが、そのようなスピーカーが付いているところ、屋外拡声子局というところでありまして、その設備も経年によって使用限度がきてございますので、取り換えるというところがございます。合わせまして遠隔の制御局でございます消防本部、公民館等々の放送設備も変えたいと考えてございます。それから現在有田市内において、防災行政無線を補完する役割として市民の皆様には防災ラジオというものを使っているというところでございます。これについては、皆様有効に使っていただいているというところでありまして、今回新たに親局の中に新しい国の規制に対応します防災ラジオ専用のアナログ波の親局というものを特例で認めていただきまして整備することとしてございます。防災ラジオについては引き続き使っていただくというところがございます。それと放送の記録性ということがあるということでもありますので、防災アプリの方を整備したいと考えてございます。主な内容については、以上でございます。
- 中西委員：今お聞きしたのは、各局のスピーカーとかそういうものを取り換えていくということになっているということでしょうか。
- 上田防災安全課長：はい、そのとおりでございます。
- 中西委員：順番とか、この地区からスタートするとか、整備する箇所もすべて決まっているのですか。
- 上田防災安全課長：それについてはこの議案議決後、業者が正式に決まりましたら請

負業者と協議してというふうに考えてございます。

- 中西委員：わかりました。
- 宇野委員長：他にご質疑ありませんか。
- 岡田委員：条件付き一般競争入札となっているとの事ですが、その辺りを詳しく教えて下さい。
- 御前総務課長：条件付きにつきましては、電気通信工事になりますので、電気通信総合評点につきまして1,000点以上の業者を選定しております。企業実績としましては過去10年間に同系のデジタル防災行政無線整備工事2億円以上を元請けとして受注した実績がある会社であるということと監理技術者が3名以上在籍しているという条件としております。
- 岡田委員：今回デジタル化ということで、アナログからデジタルに変わることによるメリットとかありましたら教えて下さい。
- 上田防災安全課長：ひとつは先程私、説明をさせていただきましたが、高性能スピーカーに屋外拡声子局で変えさせていただきます。高性能スピーカーを導入することによりまして、音声が聞きやすくなるということが1点でございます。それと現在私共の中で各地域の皆様の有線放送を使わせていただいて、放送を各地区まで聞こえるようにと考え対応しているところではありますが、こちらの設備についても、災害等で切断されて放送が出来なくなるという恐れ、リスクがございます。そういう中で、今回デジタル化をする中で屋外拡声子局だけで市内全域をカバーするシステムを考えてございます。この点がひとつ大きく変わるというところでございます。それと防災アプリの導入というところで音声との同時配信ができるというところがひとつ、それと今は導入していませんが、今回デジタル化する中で問合せ、放送の問合せをしていただく中で、市役所の方へかかってくる中で、こういうところは勤務時間内だけとなりますので、自動電話装置、聞き合わせについては各市民の皆様の費用負担はありますけれども、随時いつでも放送内容を聞けるような自動電話での対応装置というものを考えてございます。
- 岡田委員：今まででしたら雨が降る、豪雨であって家の扉を閉めたとき、なかなか放送が聞こえにくいということに対して、デジタルということで対応がしやすくなるということでしょうか。
- 上田防災安全課長：屋内という中であれば、先程も申し上げましたが、ひとつは皆様も使っているラジオということで、専用の親局を使ってラジオを聞いていただくのは続けていただきたいというのと、今はスマートホンという中で、多角的なということであればスマートホン等で災害情報を得るという状況、多くの方がそういう情報の捉え方をすると思っておりますので、防災アプリの方で屋内であれば情報を取れるようにしていただきたいと思っております。併せまして市民メールというものもありますが、こういうものも一斉の情報の伝達媒体として取り組んでいって、屋内であっても取り込めるような対応を取っていきたいと思っております。
- 岡田委員：アナログで今までは電波の届かなかったところが多くあったが、デジタル化で中継地が出来てさらに電波が届くようになったけれども、まだフォローで

きない地域も少しは出るという感覚でよろしいでしょうか。

- 上田防災安全課長：今回の見直しの設計をする中で、各地区に届くような設計はしてございます。音波、音源の伝播調査、音達調査をしてございます。ただその後施工までの時間がございますので、その中で聞こえにくいところが出てくれば、請負業者の方と対応していきたいと考えてございます。
- 岡田委員：出来るだけ電波が届くようによろしくお願いします。
- 宇野委員長：他にご質疑ありませんか。
- 成川副委員長：先程説明の中で、低入札でくじ引きがあったとの説明がありましたが、低入札ということで工事の落札率はどれくらいだったのですか。参考のために。
- 御前総務課長：落札につきましては、予定価格の70パーセント、7割になっております。調査基準価格というのは85パーセントより低い場合、低入札調査を行うというふうに設定しておりましたので、今回70パーセントで5社が並びまして、そこで抽選をしました。その1社について低入札の調査を行ったということになっております。
- 成川副委員長：5社並ぶのですね。デジタル化というのは時代の要請、ある意味で時代の要請だと思うのですが、近隣市町の整備状況とか、そのような情報はありますか。
- 上田防災安全課長：先程私が言いました国の規制というのが、令和4年の12月から今のアナログ波というのが対応している機器しか使えないということになってございます。県内においてあと2、3の自治体が残っている中で、申し訳ございませんが有田市も入っているということでございまして、有田周辺でございまして湯浅町、広川町は終わってございまして、有田川町については今年度末をもって終了と聞いてございます。
- 成川副委員長：速やかに進めて下さい。
- 宇野委員長：他にご質疑ありませんか。ないようですので私からひとつ聞きます。私は星尾に住んでいますが、防災のスピーカーから聞こえる音がものすごく小さくて、聞こえにくいのです。3カ所ぐらいに大きなスピーカーがあちらこちらに付いていると思うのですが、それでも聞こえにくいところがある。防災ラジオも聞いていたのですが、お悔やみ情報とかは音が大きすぎるのに、中々いざ防災の時には間に合わないことが多かったのです。防災ラジオをアナログのまま使うということですが、デジタルに変わっても少しも対応が変わらないのですか。対応というか機能は。
- 上田防災安全課長：すみません、今2点ばかり質問があったかと思えます。1点はスピーカーの音が聞きにくいというところでございますが、今のトランペット型といえますか、普通に今付いているスピーカーですと真下であれば声が大きくて、遠くになれば声が小さくなるという中であります。私共が前回設備を付けたのが、平成13年ということで約20年前でございます。そこからスピーカーの性能も進化してございますので、真下であってもやかましくなくて、遠くまで聞こえるというふうなスピーカーもございます。そういうものを付けて、なるべく聞きやすいというふうな対応処理をしていきたいというのが1点でございます。

それと2点目の防災ラジオの方でございますが、今皆様の中で使っていただいている防災ラジオがある中で、聞こえにくいということがありますが、これについては皆様にも十分使っていただいているということでありまして、それ専用の電波を出す親機を整備したいというふうに考えてございます。あとひとつは補完的に情報を捉える方法が無いかということですが、スマートホン等の中での防災アプリという中で、一斉配信をさせていただく中で、情報を取得していただきたいと考えてございます。

- 宇野委員長：トランペットスピーカーといいましたか、ラップ型のスピーカーであれば真下がよく聞こえるのだが、離れるとダメということで、やはり新しく設備を整えた場合には、そういう要望があるときには地区と地区の離れたところでテスト放送をしていただいて、確認をするようすれば皆さんも安心すると思うので、その点をどうかよろしく願いしておきます。他にご質疑ありませんか。
- 児嶋委員：公民館辺りで資源ごみの回収とか、例えば宮原とか糸我とかの全域が入ってきているように思うが、使い分けといいますか宮崎地区なら宮崎地区だけ放送することは出来ますか。
- 上田防災安全課長：今後放送につきましてはグルーピングということで、分けてできるような対応を考えて行きたいと思えます。
- 宇野委員長：他にご質疑ありませんか。
- 池田委員：低入札ということであれ、大きな金額の工事。この間上田課長にも事細かく色々とお聞きしたので、その時にもお願いをしたのですが、有田市の全体が十分に聞こえるようにしていただくのと、後でこの辺りが聞こえにくいから何とかしてほしいと言った場合に、それでは追加でということの無いように、これだけは今回きっちりと付けたらいいということでは無く、する限りは、これをするには追加で費用がかかるということが無いように、きちっとしておいていただきたいと思えます。

採 決 （ 可 決 ）

- 宇野委員長：以上で当委員会に付託されました議案の審査は全て終了いたしました。他にないでしょうか。なければ、以上で総務建設委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

午前10時38分 閉 会